

第6回東日本大震災草の根支援組織応援基金配分先一覧(14団体、計653万3113円)

No	団体名 (設立年)	活動拠点 (代表者名)	支援活動概要	資金使途	配分額 (円)
1	(特活)応援のしっぽ	宮城県 広部知森	手づくりワークショップの開催を通して、復興公営住宅内のコミュニティ形成および近隣住民との交流支援を実施する。5か所で毎月1回ワークショップを開催。	ワークショップ開催に係る人件費、材料費、ガソリン代など	520,000
2	(特活)子どもの村東北	宮城県 飯沼一宇	震災孤児や被災地域で社会的養護が必要となった児童を対象にした里親による家庭養護に対し、その児童や里親家庭に対する支援活動を行う。	学習塾費用、入進学支度金、学費	540,000
3	仙台テラピ・ド・ジュ研究会	宮城県 佐藤葉子	被災地における子どものこころのケアのための遊戯療法を用いた支援を実施。子どもへの個別遊戯療法、保護者カウンセリングの実施、研修会の開催。	人件費、交通費、消耗品、会場設営費など	480,000
4	(特活)チャイルドラインみやぎ	宮城県 小林純子	被災児童に対する相談を手掛ける相談員に対する研修を実施。また、子どもの電話受付の強化も図る。	会議費(4回)、研修会(4回)の開催費、旅費交通費、印刷費など	550,000
5	(一社)日本カーシェアリング協会	宮城県 吉澤武彦	住民主体の移動支援を継続できるよう、協会の組織基盤強化を図る。	パソコン、プリンター、自動車整備費、寄附決済システムの導入費	430,000
6	(特活)ベビースマイル石巻	宮城県 荒木裕美	震災後の子育て環境の悪化を受け、地域の子育てを見守る場としてのコミュニティカフェを継続開催する。	人件費	424,960
7	宮城県学童保育緊急支援プロジェクト	宮城県 池川尚美	学童保育と作業療法の連携によるコンサルテーション事業の実施。学童保育と作業療法の連携におけるセミナーの開催、訪問コンサルテーションの実施。	コンサルテーションや講師の謝金、旅費交通費、会場費	465,000
8	(特活)いわき緊急サポートセンター	福島県 前澤由美	心と身体の健康回復と帰還者の自立支援に向けた相談支援事業(電話相談、出張相談会、自宅訪問相談支援)の実施やシェルター機能の充実を図る。	家賃、水道光熱費、謝金、印刷費	605,053
9	Wendyいわき	福島県 三浦 綾	7地区合同で大交流フェスタを開催する。また、相談窓口の設置や子どもの一時的預かりや遊び場も設置する。	会場費、製作費、人件費(フェスタ運営スタッフ)、謝金など	360,000
10	(特活)Commune With助産師	福島県 草野祐香利	いわき市内で、全ての妊産婦や子育て家庭が孤立することのないよう、子育て情報の提供、親子交流広場の開催、アウトリーチによる支援を行う。	交流広場開催に係る人件費や謝金、講師の旅費交通費、印刷費など	458,100
11	福島県立新地高等学校(生徒会)	福島県 江尻雅彦	震災の風化を目的に追悼行事、岩手県での研修(地元高校生との交流等)、「おもひの木プロジェクト」活動紹介の情報発信などを実施。	旅費交通費、ドローン一式、印刷費	400,000
12	福島県立ふたば未来学園高等学校社会起業部	福島県 石田敦也	地域のイベントへの積極参加、復興への取り組みや放射線の状況の発信などを行う。	旅費交通費、機材レンタル費、広報費など	400,000
13	(特活)ふくしま30年プロジェクト	福島県 阿部浩美	原発の影響を受けた福島県内の子どもたちを対象に、山形県に招待し、田植え、草取り、稲刈りなどの農業体験と里山での生き物観察やトレッキング体験の機会を提供する。	マイクロバスレンタル代などの旅費交通費、宿泊費、人件費、体験プログラム(参加費)など	440,000
14	(特活)ふよう土2100	福島県 大澤康泰	障がい者に対するソーシャルトレーニング、ライフスタイルトレーニングの実施(農産物の生産体験)。	リンゴの木や畑の貸借料、旅費交通費、農機具購入費、人件費など	460,000
				合計	6,533,113